

平成26年における濃尾平野の地盤沈下の状況

1. 概要 :

平成27年8月27日に東海三県地盤沈下調査会 評議会を開催し、平成26年における濃尾平野の地盤沈下および地下水位の状況等についてとりまとめました。

主な点は以下のとおりです。

- ・ 平成26年に水準測量を実施した水準点の総数は886点であり、年間1cm以上沈下した水準点は8点あったが各々単独であり、平成19年度以降、8ヵ年連続で沈下域は形成されなかった。
- ・ 地下水位の経年的な傾向については、昭和50年代前半より回復（上昇）傾向に転じ低下・上昇を繰り返しながら、近年は横ばい傾向にある。
- ・ 最近5ヶ年（平成22年～平成26年）では、沈下しやすい軟弱な粘土層が厚く堆積している濃尾平野中西部に累積沈下量が大きい地域が分布しているものの、これらの地域でも沈下量は年間1cm程度と緩やかである。
- ・ 当地域の地盤沈下は沈静化してきているが、自然災害の潜在的危険性が高い地域であるので、地盤沈下状況の観測・監視ならびに地盤沈下対策を継続して行う必要がある。

2. 資料

- ・ 平成26年度における濃尾平野の地盤沈下の状況
- ・ 地盤沈下等量線図

3. 配布先 :

中部地方整備局記者クラブ

4. 問合せ先 :

東海三県地盤沈下調査会 事務局

- ・ 中部地方測量部 測量課 測量課長 石山 信郎
TEL : 052-961-5638
- ・ 中部地方整備局 河川部 河川計画課 課長補佐 堀 謙一郎
TEL : 052-953-8148